

# 令和4年度滋賀県立膳所高等学校特色選抜

受検番号

総合問題Ⅰ【1枚目】

- 注意
- \* 答えは、全て、解答用紙の決められた欄に書き入れなさい。
  - \* 与えられたいくつかの事項のうちから答えを選ぶ場合は、記号で書きなさい。
  - \* 漢字は楷書、仮名遣いは現代仮名遣いで書きなさい。
  - \* 英語は、活字体または筆記体で書きなさい。
  - \* 問題用紙は4枚、解答用紙は2枚あります。

1 次の文章を読んで、後の1から11までの各問いに答えなさい。

i 二百年近く以前の ii ドイツの詩人 iii ノヴァーリスが——この人は二十代で夭折したが——書きのこした本に『断章』がある。その中には、自然科学や哲学や魔術その他、百科全書的な分類のもとでの思索の断片がおびただしく連ねられているが、そのなかに私をびっくりさせた言葉がある。

「見えるものは見えないものにさわっている。聞こえるものは聞こえないものにさわっている。それならば、考えられるものは考えられないものにさわっているはずだ」

これは詩人の直観がとらえた大変に深い【A】をあらわしている言葉である。つまり、われわれが考えることのできるものの世界は、限られていてさきやかである。しかし、その考えられるものが考えられないものに、じかにさわっているということは、言いかえれば、有限なるもの、さきやかなるものが、じかに無限なるものにさわっているということである。いかにも詩人の直観的な表現だが、ある神秘的な<sup>ひそ</sup>がりを秘めている。

哲学者がこれを読めば、そこに哲学的<sup>めいそう</sup>への貴重なきっかけが得られるかもしれないし、また、たとえば画家がこういう考えに打たれたなら、ひょっとして一生の転期になるような美術観の変化というものが生じるかもしれない。見えるものにさわっているという見えないものを、どうやって画面に描くか。音楽家にとっても、聴こえるものにさわっているという聴こえないものを、どうやって音楽の世界のものにするか。すべて、難問である。しかし、創造的な刺戟を秘めた難問である。そして、ここであらためて気づいて驚かざるを得ないのは、ノヴァーリスがこの奥行きのある思想を語るのに、まことにさきやかな言葉しか用いていないということである。彼はあたりまえの言葉を使って簡潔に書いている。しかし①そこで語られている思想は、豊かな展開の可能性を秘めている。

このようにみえてみると、私たちがしばしば用いて語るコミュニケーションという言葉についても、②若干ふれておきたくなる。私は、日常生活においてはもちろん、文章の中でも、よほど必要にせまられた場合でないと「コミュニケーション」という英語を用いて語りたくないという、やや偏見的な態度をもっている人間である。

思うに、人の心と心のふれ合いということ語るためには、コミュニケーションという外来語はあまり役に立たない。また、コミュニケーションという言葉を用いて論じられる③リョウイキでは、大前提として、人の意思は伝わらないより伝わるほうがよい、しかも

②より早く、広く伝わるほうがよいという善意の考え方があると思われるが、私は人間というものにもう少し別の暗闇があることのほうを大切に思っているので、コミュニケーションというピカピカした言葉になじめない。

iv コミュニケーションは訳せば「伝達」とか「通信」という意味だが、人間の気持ちというものはそんなに簡単に伝わるものではないという、われわれが体験的に知っている事実は、なかなか大切な問題を示しているのではないだろうか。最も相手に伝えたい気持ちは、最も言葉にしにくい微妙な複合体なので、大事なことほど簡単に伝わりにくいものということが一般に言える。さらにこれを押して言えば、そんなに簡単に人に気持ちを伝えようとしないうほうがいとさえ言えるのではないか。誤解の余地が<sup>いさどお</sup>つねにあることのほうが、人間であるという条件に対しては忠実な生き方だという気がする。そこから生じる悲しみや<sup>いさどお</sup>憤りを含めて、そういう気がする。

ある思いを簡単に伝えるということは、能率という観点からすれば無条件によしとされることであろうが、人間は能率のみによって生きるわけではない。能率の奴隷として生きることが人間の幸福であるわけではない。人と人との間をつなぐ最も重要な通路に言葉というものがあって、それが「コミュニケーション」をも生むものだが、③言葉にはよくわからない部分があつていいのだ、というのが私の考え方である。

言葉の通路には薄く<sup>うす</sup>らがりがあるほうがいいのだ。なぜなら、人間というものは、そんなに【B】と思うからである。もちろん私は、コミュニケーションの理論やその広範な応用について頭から反対しているわけではない。ただ、人間は「コミュニケーション」を拒否することにおいて人間そのものである場合もある、という事実に関心を寄せずにはいられないだけである。

ある人間、ある事象に対してかたくなに拒絶的な態度をとることによって、かえって鮮烈に考えや気持ちを伝えることができることもある。そういう点から眺めると、人間の心には、無数の扉があつて、ある扉はたえず開かれたり閉じたりしているのに、一生に一度か二度しか開かない開かずの扉もまたあるというふうに思われてならない。その開かずの扉を開くか開かないかということは、その人にとっては大事件なのである。その開かずの扉が何らかのきっかけで開くときに生じる他者との全く新しい関係、それこそが、かけがえのない「コミュニケーション」の④スガタのように思われる。

それは、ある心と別の心との間に、とつぜん新しい橋がかかることにほかならない。それが人を幸福にするかしないかは、いちがいに言えない問題だが、少なくともその瞬間、人は自分自身について、あるいは相手について、新しい発見をする。暗い部分に光がさしこむ。つまり、ノヴァーリスの言葉にもどつていけば、「見えるもの」にさわっている「見えないもの」が見えてくる。私たちは日常おびただしい「コミュニケーション」の網目の中で生きながら、心の底ではたえずそういう瞬間、この「④もう一つのコミュニケーション」を渇き求めているのではないだろうか。

(大岡信『詩・ことば・人間』による。)

- (注) 夭折=若くして死ぬこと。 瞑想=目を閉じて深く静かに考えること。  
刺戟=「刺激」と同じ意味。

# 令和4年度滋賀県立膳所高等学校特色選抜

受検番号

総合問題Ⅰ【2枚目】

- ①から④までの\_\_\_\_\_線部について、カタカナを漢字に、漢字をひらがなに直して答えなさい。
- 【 A 】に入る語として適当なものを、次のアからオまでの中から1つ選び、記号で答えなさい。  
ア 理念      イ 感想      ウ 洞察      エ 配慮      オ 論理
- \_\_\_\_\_線部①の「豊かな展開の可能性」について、説明として適当でないものを次のアからオまでの中から1つ選び、記号で答えなさい。  
ア 無限なるものの存在を感じることができる。  
イ ささやかな言葉で世界を語ることができる。  
ウ 思索のための手がかりを得ることができる。  
エ 美術に対する見方を変更することができる。  
オ 音楽での新しい表現を試みることができる。
- \_\_\_\_\_線部②の「より早く、広く伝わるほうがよい」ということと同じ考え方を表す語を、漢字2字で文中から抜き出して書きなさい。
- \_\_\_\_\_線部③で、筆者が「言葉にはよくわからない部分があるいいのだ」というのはなぜですか。わかりやすく説明しなさい。
- 【 B 】には、「実は奥行きや実質を備えている」ことを表す言葉が入ります。次のアからオまでの中から適当なものを1つ選び、記号で答えなさい。  
ア 的はずれなものではない      イ おごそかなものではない  
ウ おおごっぱなものではない      エ 軽はずみなものではない  
オ 薄っぺらなものではない
- \_\_\_\_\_線部④の「もう一つのコミュニケーション」が成立するとはどういうことですか。わかりやすく説明しなさい。
- \_\_\_\_\_線部 i 「二百年近く以前」は、この文章が1985年に出版された本に収録されているので、1785年頃から1795年頃のことである。この時期、日本では幕府や各藩が財政改革や人材育成に取り組んでいた。これについて次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。  
(1) この時期に改革が行われるようになったのは、天災が続き各地で大規模なききんにみまわれたためである。このときのききんを何というか、答えなさい。  
(2) この時期に幕府が行った改革として正しいものを、次のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えなさい。  
ア 旗本や御家人の借金を帳消しにした。  
イ 公事方御定書という裁判の基準を定めた。  
ウ 物価の上昇を抑えるため、株仲間を解散させた。  
エ 目安箱を設置して幕府の政治への意見を一般から求めた。

- (3) 膳所藩の藩校「<sup>じゆんぎどう</sup>遵義堂」もこの一連の改革の後に設立され、武士の子どもの教育を行った。一方、庶民の子どもも寺子屋で学ぶようになっていった。寺子屋での学習について、学ぶ内容はどのようなことがらであったか書きなさい。また、資料1は会津藩の藩校「<sup>あいつ にっしんかん</sup>日新館」での学習の様子を再現した展示物の写真、資料2は寺子屋での学習の様子の一例を描いた絵である。「学び方」、「学ぶ人」、「教える人」について、この寺子屋での学習の特徴として資料2から読み取れることを、資料1と比較しながら、それぞれ簡潔に答えなさい。

## 資料1 藩校での学習の例



(会津若松観光ビューローのウェブサイトより)

## 資料2 寺子屋での学習の例



いわおじよしゆん  
(巖如春「儀式風俗図絵」より)

# 令和4年度滋賀県立膳所高等学校特色選抜

(下書き用紙)

受検番号

総合問題Ⅰ【3枚目】

9 線部 ii 「ドイツ」はヨーロッパ連合 (EU) の発足時から加盟している国の一つであるが、EUについて、次の各問いに答えなさい。

- (1) EUの前身となった1967年に結成された組織の名称を答えなさい。
- (2) 2022年1月現在、EUに加盟していない国を次のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア アイルランド イ ギリシャ ウ トルコ エ ブルガリア

- (3) EUによる経済統合により、EU内で自由に人や物が移動できるようになった。資料3から、発足時からの加盟国に対し新しくEUに加盟した諸国にはどのような傾向が見られるか、答えなさい。また、これを踏まえ、ポーランドやハンガリーなど東ヨーロッパの国々で見られるEU加盟後の企業の動きについて説明しなさい。

資料3 EUおよびその前身となる組織への加盟年と  
各国の一人あたりのGNI (国民総所得)

国名	加盟年	一人あたりのGNI (名目、2019年、ドル)
ドイツ	1967年	47,488
フランス	1967年	41,155
スペイン	1986年	29,860
ポルトガル	1986年	22,811
ポーランド	2004年	15,017
ハンガリー	2004年	16,424

(「世界国勢図会 2021/22」より作成)

10 線部 iii 「ノヴァーリス」が没した1801年、日本では国学を大成した本居宣長が亡くなっている。宣長の主著で、仏教や儒教の影響を受ける前の日本古来の思想を実証的に研究した書物は何か、書きなさい。

11 線部 iv に関して、現在、ICTの発達により、大量の情報を短時間で分析し、広範囲に伝達できるようになり、私たちの生活は便利になった。このことについて一つの例を取りあげ、どのような情報を分析することで何が可能となったのか、40字以上50字以内で具体的に説明しなさい。

# 令和4年度滋賀県立膳所高等学校特色選抜

受検番号

総合問題Ⅰ【4枚目】

2 次の文章を読んで、後の1から9までの各問いに答えなさい。

Britain is a country of charity. In the U.K., charity is a part of people's daily lives and has become a part of their culture. You can see many different kinds of charity in a year. People take part in a lot of volunteer activities and fundraising activities, and you can find simple donation boxes in almost every store and even in museums.

There are also charity shops all over the country. People bring things ①【 are / good / to / away / which / too / throw 】 and give them to the stores for free. The stores will usually sell them at a low price and then the money will be donated to charity. The shop staff work for almost nothing.

British people seem to enjoy charity work. [ ② ], every two years, the country has an event called "Red Nose Day". People wear red noses like the noses worn by clowns and enjoy doing funny things to raise money. Children wear these noses and go to school on this day. There is also an event called "Movember". Men will not shave for a month to raise money for charity. "Mo" means "moustache" and "( ③ )" is the month which has the event.

People in Britain learn to take part in charity when they are children. [ ② ], to collect one hundred pounds to help a children's hospital, one seven-year-old boy asked the adults around him, "If I can jump one hundred times with my skipping rope, will you donate a pound to me?" He actually raised enough money for ④his goal.

Not only 【 A 】 but also 【 B 】 people try to do their best for charity. A 99-year-old retired army captain raised money to support the staff ⑤【 that / the hospital / helped / for / working / him 】 get better before. He walked one hundred times around his garden while he was using a walking aid. He was one hundred years old when he was able to do this. His goal was to raise 1,000 pounds. However, in the end he raised ⑥20 million pounds. The number of people who donated was over 976,000 and even Prince William and Princess Catherine donated.

You can find some people standing in public places such as stations and shopping malls to raise money in Japan, too. They try hard to support activities to help people in need. People in Britain also do the same thing. However, the British approach of doing ⑦their own small challenges to ask people for money may be a little different from the way which is familiar to Japanese people.

Both children and adults feel happy when their hard work helps someone else. They may also realize that they are very lucky to be able to live a happy life. Especially in the case of children, having such an experience from an early age can help them recognize that

they are also part of a society and can make a difference, and that creates a sense of responsibility.

(注) Britain: 英国 take part in ~: ~に参加する fundraising: 資金調達  
donation: 寄付 for nothing: 無料で clown: ピエロ raise: 集める  
Movember: モベンバー (造語) shave: 剃る moustache: 口ひげ  
-year-old: ~歳の skipping rope: 縄跳びの縄  
pound: ポンド (英国の通貨単位) retired army captain: 退役陸軍大尉  
walking aid: 歩行器 Prince William: ウィリアム王子  
Princess Catherine: キャサリン妃 approach: 手法 challenge: 挑戦  
be familiar to ~: ~になじみのある recognize: ということ認識する  
make a difference: 違いを生じさせる

- ①【 】内の語句を正しく並べかえなさい。
- [ ② ]に共通して入る語句(2語)を英語で答えなさい。
- ( ③ )に入る語(1語)を英語で答えなさい。
- 線部④の具体的な内容を日本語で答えなさい。
- 【 A 】【 B 】に入る語の組み合わせとしてもっとも適当なものをAからEまでの中から選び、記号で答えなさい。  
ア A: children B: old  
イ A: old B: poor  
ウ A: children B: rich  
エ A: rich B: old
- ⑤【 】内の語句を正しく並べかえなさい。
- 線部⑥について数字を使って書きなさい。
- 本文の内容と合うものを、次のAからEまでの中から2つ選び、記号で答えなさい。  
ア It is not easy to find donation boxes in the U.K.  
イ People bring things to the charity shop to sell them at a low price.  
ウ Children in the U.K. sell red noses and raise money on "Red Nose Day".  
エ The 99-year-old man set a goal for his fundraising, but he actually collected more.  
オ Children want to help other people more than adults.  
カ Children learn that they can also make their society better.
- 線部⑦について、あなたなら具体的にどのような人を支援するために、どのようなことをしてお金を募りますか。30語以上40語以下の英語で書きなさい。ただし、本文で挙げられている例は書かないこと。